

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	29	外部の病院を受診した際に、家族に結果を報告した事が分かるように、情報提供書に記載することが継続して出来ている。かかりつけ医の回診では、特変のある時しか家族への報告を行っていない。	回診、処方依頼時の記録、家族へ結果の報告を徹底する。また、報告した事が分かるようにする。	個人毎に回診、処方依頼時の記録用紙を作成し、家族へ報告した事が分かる様に、「いつ」「誰が」「誰に」伝えたかを記載する。	3ヶ月
2	59	外出の機会が多いが、職員の提案する場所に行く事が多く、入居者の方の行きたい場所や馴染みの場所を聞く事が少ない。また、足腰の丈夫な方の外出の機会が多く、片寄ってしまっている。	行きたい場所や馴染みの場所を聞き、入居者の方と相談し外出先を決める。	いくつかの案を提案し、行き先を入居者の方と相談する。生活歴や会話から馴染みの場所を把握する。入居者の方の状態に合わせた外出を考える。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。